

性的
理的
な
問
い
と、
不
合
理
な
答
え

real SOU #14 +

櫻井 類
松田 啓佑
三宅 砂織

入場無料

同時開催

2024年10月26日(土)～11月17日(日)

11時～18時 (入場は17時半まで)

月・火 休み ※11月4日(月・祝)はオープン

Funny bone と移動する日常 (1,3,4,5,B1,B2 階)

池奈千江／伊藤衣穂／植松ゆりか／小栗沙弥子／こいけぐらんじ
／近藤佳那子／鋤柄ふくみ／高田実季／田口美穂／馬場奈津紀／
古畑大気／文谷有佳里／Barrack (古畑大気＋近藤佳那子)

茨木市福祉文化会館 (オークシアター) 2 階

郊外の街における「アートコレクティブ」による継続的な活動意義 (3 階)

金崎亮太

理性的な問いと、不合理な答え

real SOU #14 +

櫻井 類 Rui Sakurai

松田 啓佑 Keisuke Matsuda

三宅 砂織 Saori Miyake

絵を考えることは、絵の上で考えなければいけない。絵の上で考えることは言葉ではなく、むしろ言葉を取り除いていくことかもしれない。私たちはある時に気づきます。もしかしらざっと言葉で絵を見てしまっていたのではないかと。

今回は現在第 14 回 SOU に参加の櫻井類 (b.1981 兵庫在住) と、第 1 回 SOU 参加の松田啓佑 (b.1984 京都在住)、第 2 回参加の三宅砂織 (b.1975 京都在住) を紹介。それぞれの作家の絵画への問いと飛躍について考え、作家が描くことによって至った独自の表現を紹介します。

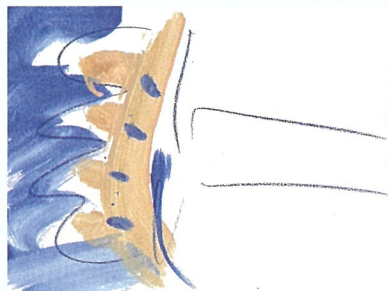
SOU (ソウ) -JR 総持寺駅アートプロジェクト

2018 年 3 月 JR 総持寺駅開業とともに、生活の中でアートに出会う環境をつくり、アートを知るきっかけの場になればという思いから、茨木市の文化事業として立ち上げられました。高さ 2.6m の自由通路壁面に、有名・無名、地域・年齢に関わらず、様々な作家の作品を大型プリントにして展示し、現代美術を軸とした絵画や写真など多様な作品を紹介します。展示は6ヶ月ごとに入れ替えを行い、継続するアートプロジェクトとして現在 14 回目を迎える。

※ 第 14 回 SOU に参加の長谷川繁の作品は本展で展示をいたしません。



櫻井類 センズの境, ミクストメディア, サイズ可変, 2024



松田啓佑 untitled, acrylic on paper, 317x410mm, 2024



三宅砂織 Nowhere in blue, Single channel video, 20min loop, 2023

アーティストトーク

11 月 9 日 (土) 17 時半〜 茨木市福祉文化会館2階 展覧会場

参加無料・予約不要

展示作家、櫻井類・松田啓佑・三宅砂織を迎え、制作と独自の表現について語っていただきます。

茨木市福祉文化会館

(オークシアター) 2 階

〒567-0888 大阪府茨木市駅前 4 丁目 7-55

阪急茨木市駅より西へ徒歩 10 分

JR 茨木駅より東へ徒歩 10 分

※会場に駐車場はありません

(お近くの市営駐車場、コインパーキングをお使いください)



企画 | One Art Project 協力 | Barrack 助成 | 茨木市文化振興財団活動発展助成対象事業

特別連携企画

今年 5 月に閉館した茨木市福祉文化会館の全館を展示会場とし、愛知県瀬戸市のアートユニット Barrack の展覧会と会場を共にします。

Barrack とかねてから交流のあった One Art Project は、作家、展覧会、まちにおける芸術文化のあり方を交換してきました。今回茨木市で行われる Barrack の企画展では、愛知周辺のアーティストを迎え、彼らの作品を紹介するとともに、茨木市における文化環境の持つ課題、「作り手の定着」「文化的拠点の創出」「現代美術の展示場所」をテーマに、Barrack を取り巻くアーティストやカフェ、展示技術などの取り組みを包括的に紹介。また金崎亮太 (大阪市在住) による One Art Project と Barrack の関係を学術的な観点での展示をおこない、双方の対話のひとつの結実を図ります。

Funny bone と移動する日常

池奈千江 / 伊藤衣穂 / 植松ゆりか / 小栗沙弥子 / こいけぐらんじ / 近藤佳那子 / 鋤柄ふくみ / 高田実季 / 田口美穂 / 馬場奈津紀 / 古畑大気 / 文谷有佳里 / Barrack (古畑大気 + 近藤佳那子)

愛知県瀬戸市を拠点に活動する作家、近藤佳那子と古畑大気によるアートユニット Barrack (バラック) が企画する現代美術の展覧会。3つの会場 (茨木市立ギャラリー、茨木市福祉文化会館、茨木クリエイトセンター) を舞台に構成される本展は、Barrack がこれまで関わってきた愛知県近郊の作家達を広く紹介し、彼らが日々を通して継続してきた、繰り返し考えつづること、その本質に迫ります。街や人が展覧会を通して交わりながら、文化的創造が持続し、また新たに創られていくことを目指します。(福祉文化会館 1,3,4,5,B1,B2 階 ※他会場に茨木市立ギャラリー、クリエイトセンター)

企画 | Barrack 主催 | 茨木市



郊外の街における「アートコレクティブ」による継続的な活動意義

金崎亮太

One Art Project と Barrack によるピアレビュー (相互評価) を通じて双方の活動意義を考察し、その成果を論文、動画として展示発表します。(福祉文化会館 3 階)